

規則  
1

# ゲーム、プレイヤーの行動、規則

## 規則の目的：

規則1はプレイヤーに対してこのゲームの主要な原則を説明している：

- コースはあるがままにプレーし、球はあるがままにプレーする。
- 規則に従い、ゲームの精神の下でプレーする。
- 規則に違反した場合は、マッチプレーの相手やストロークプレーの他のプレイヤーたちより潜在的な利益を得ることがないように自分自身で罰を適用する責任がある。

## 1.1 ゴルフゲーム

ゴルフは1つの球を1つのクラブで打つことによってコース上の18ホール(またはそれ以下)の1ラウンドをプレーする。

各ホールはティーイングエリアからストロークをして始まり、球がパッティンググリーンに入ったとき(または規則が別途、そのホールの終了を規定しているとき)に終わる。

各ストロークについて、プレイヤーは：

- コースはあるがままにプレーする。そして、
- 球はあるがままにプレーする。

しかし、規則がプレイヤーにコース上の状態を変えることを認める例外や、球がある場所とは違う所からその球をプレーすることを要求したり、認めたりする例外がある。

## 1.2 プレーヤーの行動基準

### 1.2a すべてのプレイヤーに期待される行動

すべてのプレイヤーは次の行動をとることによってゲームの精神の下でプレーすることが期待される：

- 誠実に行動すること—例えば、規則に従う、すべての罰を適用する、プレーのあらゆる面で正直である。

- 他の人に配慮を示すこと—例えば、速やかなペースでプレーする、他の人の安全に気を配る、他のプレーヤーの気を散らさない。
- コースをしっかりと保護すること—例えば、ディボットを元に戻す、バンカーをならす、ボールマークを修理する、不必要にコースを傷つけない。

この方法で行動しなかったことに対して規則に基づく罰はない。ただし、プレーヤーが重大な非行をしたと委員会が考えた場合、その委員会はゲームの精神に反する行動をしたことに対してそのプレーヤーを失格とすることができる。

プレーヤーの非行に対する失格以外の罰は、それらの罰を規則1.2bに基づく行動規範の一部として採用する場合にだけ課すことができる。

## 1.2b 行動規範

委員会はローカルルールとして採用する行動規範の中にプレーヤーの行動についての委員会独自の基準を規定することができる。

- この規範にはその基準の違反に対する罰(例えば、1罰打や一般の罰)を含めることができる。
- 委員会はこの規範の基準に反する重大な非行に対してプレーヤーを失格とすることもできる。

委員会の措置、セクション5H(採用することができる行動規範の基準の説明)参照。

## 1.3 規則に従ってプレーする

### 1.3a 「規則」の意味；競技の条件

「規則」の意味：

- ゴルフ規則の規則1～24と、この規則の定義。そして、
- 委員会が競技やコースに対して採用するすべての「ローカルルール」。

プレーヤーは委員会が採用するすべての「競技の条件」(例えば、参加要件、プレー形式、プレーの日程、ラウンド数、1ラウンドのホール数、ホールの順番)にも従う責任がある。

委員会の措置、セクション5Cとセクション8(ローカルルールと認められるローカルルールひな型一式)；セクション5A(競技の条件)参照。

### 1.3b 規則を適用すること

(1) プレーヤーは規則を適用する責任がある。プレーヤーは自分自身に規則を適

用する責任がある：

- ・ プレーヤーは規則違反をしたことを認め、自分自身の罰を適用するときには正直であることが期待される。
  - » プレーヤーが罰を含む規則に違反したことを知っていて、故意にその罰を適用しなかった場合、そのプレーヤーは**失格**となる。
  - » 複数のプレーヤーが知っている規則や罰を適用しないことに故意に同意してそれらのプレーヤーのうちの誰かがラウンドを始めた場合、そのプレーヤーたちは**失格**となる(プレーヤーたちがその同意に関してまだ行動していなかったとしても)。
- ・ 事実問題を決定する必要がある場合、プレーヤーはその事実に関して自分が知っている事実だけではなく、合理的に入手できるすべての他の情報についても検討する責任がある。
- ・ レフェリーや委員会に規則について援助を求めることができる。しかし、援助を合理的な時間内に受けられない場合、そのプレーヤーはプレーを続け、後にそれができるようになったときにレフェリーや委員会にその問題を提起しなければならない(規則20.1参照)。

### (2) 規則を適用するときに、場所の決定に関するプレーヤーの「合理的な判断」を受け入れること。

- ・ 多くの規則がプレーヤーに規則に基づいて箇所、地点、線、区域、他の場所を決定することを要求している：
  - » 球がペナルティーエリアの縁を最後に横切った場所を推定すること。
  - » 救済を受けるときに球をドロップ、またはプレスする場所を推定したり、計測すること。または、
  - » 球を元の箇所にリプレスすること(その箇所が分かっている場合か、推定する場合かにかかわらず)。
- ・ そのような場所に関する決定は速やかに、かつ慎重に行われる必要があるが、多くの場合、正確にはできない。
- ・ プレーヤーが正確な決定を行うためにその状況下で合理的に期待されることを行っていれば、そのプレーヤーの合理的な判断は、たとえストロークを行った後にビデオの証拠や他の情報によりその決定が間違いであることが示されたとしても、受け入れられる。
- ・ ストロークを行う前にプレーヤーが間違った決定に気づいた場合は訂正しなければならない(規則14.5参照)。